

資料 2

一般社団法人四国の右下観光局 事業実施状況等

平成30年度				令和元年度 実施計画・進捗状況等
事業	項目	取組内容等（計画）	事業実施結果	
1 日本版DMO候補法人の登録	法人登録の申請	○市町と連携した形成・確立計画の策定 ○候補法人の登録申請 ○本登録に向けた体制整備	※H30.3.23 一般社団法人四国の右下観光局設立 ①H30.7.31付け「日本版DMO候補法人」登録	■現在、「日本版DMO候補法人」として登録されているが、2019年度中に登録要件をクリアし、「日本版DMO」本法人としての登録を目指す。 ① 本登録に向けた取組の加速 登録要件に対する自己評価や外部組織による検証を行い登録要件をクリアする。 → DMO外部検証会議の開催（9月/各市町・観光協会・金融機関等11名で構成）
			①H30.4.1 事務局の整備 事務局長/事務局次長 2人体制	①H31.4.1 事務局の体制強化 → 2人体制から5人体制（+ マネージャー3人） ②R1.5.1 事務局体制強化 → 5人体制から6人体制（+ マネージャー1人）
				■データ収集と分析 ①宿泊施設・観光施設・イベント等において来訪者調査等を実施し、旅行者ニーズ等に関するデータを収集・分析。観光統計調査等のデータ等も収集し、旅行商品の開発やプロモーション活動等の展開に活かす。 → 延べ宿泊者数調査実施中（H31.4～R2.3までの1年間）※圏内のホテル（約100施設） → 南部来訪者調査実施中（R1.4～R2.3までの1年間） 宿泊施設・観光施設・イベント等で調査を実施中（旅行消費額/満足度/訪問先/リピート回数等）
			■KPI検証 持続的な観光地域づくりを推進するにあたり、主要業績目標指数「KPI」達成度を評価する。	
2 一般客向け着地型旅行商品の企画開発、販売促進、流通	受旅行会社機能の確立	○2種旅行業登録 ○損害保険代理店資格取得 ○WEB予約、決済システムの導入	①H30.7.2「旅行サービス手配業」登録 → 旅行会社に対する宿泊、運輸等のサービスの手配が可能となった。 ②H30.9.9 損害保険代理店登録 → 旅行保険等取り扱いの開始 10件契約	■DMOの機能を活かし、地域を巻き込んだ観光地域づくりを進めるとともに、旅行商品の開発やマーケティングの強化等を図る。 【受旅行会社機能の確立】 ①第2種旅行業登録 →国内の募集型企画・実施を行うことができる第2種旅行業の登録を目指す。 （課題：登録に向けた供託金確保必要） ②着地型旅行商品の販売促進 →観光事業者等と連携した旅行商品の開発を進め、旅行会社向け提案機能を強化するとともに、オンラインによる自社プランの直接販売に取り組む。 ・大手旅行会社との委託販売契約の締結 ・BtoCオンライン旅行販売 ・WEB予約、決済システムの導入
			○提案営業、広報ツール作成	①観光局PRパンフレットの作成 → 10,000部作成 ②国内外商談会参加 → 国内8/国外2（詳細は後掲） ③企画提案等 → 旅行会社個別訪問 約40社訪問 → 伊勢エビ宿泊プランの企画・PR →高足ガニ活用誘客プロジェクトへの参画 →出羽島アート展運営実行委員会への参画 （2種旅行業登録後） ①販路拡大のための大手旅行会社と委託販売契約

資料 2

一般社団法人四国の右下観光局 事業実施状況等

平成30年度				令和元年度 実施計画・進捗状況等	
事業	項目	取組内容等（計画）	事業実施結果		
3 体験型旅行の誘致、受入態勢整備、受入実施	観光産業を支える人材育成	○観光産業を支える人材を育成するためのセミナー等の開催	<p>（主催）</p> <p>①外国人旅行者おもてなしセミナー+Web中継2カ所（30.9.26/南部総合県民局美波庁舎/約50人） （講師派遣）</p> <p>①通訳人材養成セミナー（30.12.21/県主催）</p> <p>②キャッシュレス決済セミナー（31.2.7/美波町主催） （研修会参加）</p> <p>①持続可能な観光国際基準研修会（30.8.3～4）</p> <p>②四国観光デジタルマーケティングカンファレンス（31.2.7） （受託事業）</p> <p>①徳島県南部圏域の観光地における消費者問題の調査研究業務の受託（30.11.27～31.2.28 委託者：県）</p>	<p>■観光産業を支える人材育成</p> <p>インバウンドの受入や体験プログラムの開発、県南の魅力を伝えるガイド養成支援など観光産業を支える人材を育成・支援する。</p> <p>①セミナーの開催（主催） 地域住民等に対する観光地域づくりの意識醸成を図るとともに、旅行者への「おもてなしの心」の重要性等をアピールするセミナー等を開催 → DMO関係セミナー 31.5.15/南部総合県民局美波庁舎/参加者約50人</p> <p>②観光人材・ガイド養成塾の開催等（主催） 宿泊・観光施設の満足度の向上に向けた対応の強化や体験プログラムのガイド養成、事業承継等を促す養成塾などを開催する。 → 外国人ベジタリアンセミナー R1.6.11/海陽町/参加者15人 → 外国人おもてなしセミナー（11月開催予定） 講演会/宿泊・食事等の受入体制/キャッシュレス/宿泊倍増関係等 （観光局からの講師派遣）</p> <p>①観光関連民間企業社員研修・大学等公開講座ほか（年間3～4回派遣予定）</p> <p>②キャッシュレス決済勉強会の実施（約10回） → 3回実施＝1旅館PAYPAY導入・1事業者申請中） （職員の研修会参加）</p> <p>①研修会に随時参加 （受託事業）</p> <p>①文化や伝統に関する観光人材養成等の事業を受託予定</p>	
				<p>（宿泊事業者に対する個別コンサルティング） 個別契約による請負を検討。コンサルティング料は宿泊取扱額の3%程度。</p>	
	体験型旅行の強化 【対国内】	<p>○着地型旅行商品を、大手旅行会社パンフレットへオプションツアーとして掲載</p> <p>○会員制パッケージ旅行への組込依頼、オーガナイザー団体旅行の提案、MICE（合宿関連）の誘致</p> <p>○体験型旅行商品サイトとの業務提携</p>	<p>①国内外旅行会社に対し、商談会、個別訪問により提案営業を行った。 → 40社</p> <p>②ホームページトップ画面に、体験予約検索サイトへのリンクバナーを設置した。</p> <p>③中国からの視察旅行を仲介し、7月に阿南エコパークへの視察が実施された。</p> <p>④在台湾の旅行サービス仲介会社に当地を視察いただき台湾の旅行専門誌『旅奇』で紹介記事掲載された。</p> <p>※30.9.7台湾/11.12.～13香港商談会参加、エージェント個別訪問（1社から団体向けツアー行程作成・見積依頼等）</p>	<p>■体験型旅行の誘客強化(対国内)</p> <p>県南の強みである教育旅行について、地域の体験型観光に取り組む事業者との連携を強化し、新たに阿南市、那賀町での受入れを可能とすることで、県南全域において教育旅行を推進する態勢を整備する。また、個人旅行者の獲得を目指し広域エリアでの体験受入れ調整やインバウンド拡大に向けた魅力発信等については、四国の右下観光局が中心となり取り組むことで、国内外からの旅行者の誘客を促進する。</p> <p>①旅行会社への体験型旅行の提案強化 教育旅行をはじめ団体旅行による誘客を進めるため、旅行会社での取り扱いを増やすオプションツアー、パッケージ旅行者等への提案を強化する。 ・着地型旅行商品を大手旅行会社へオプションツアーとして掲載 ・会員制パッケージ旅行への組込依頼 ・団体等への受注型企画旅行の提案 ・体験型旅行商品サイトとの業務提携</p> <p>②関東圏をターゲットにスポーツ合宿等の誘致促進 ・日本学生サーフィン連盟・日本カニニュー連綿等との連携を強化し、スポーツ合宿、文化合宿の受入を強化する。</p> <p>③伝統文化等を活用した体験型モニターツアーの実施 ・地域の祭りを活用し準備から本番までを体験できるモニターツアーや自然や風景を体験できる「ガイド付きボタリングツアー」を実施 → 31.4月にコース設定のため実地を巡り、現地調査を実施（那賀町コース・牟岐出羽島コース）。ツアー造成の調整中。</p> <p>④市町観光協会等が企画するツアーについて、満足度の高い・人気のあるものとするため、実際にツアーに同行し、指導助言等を行う。</p>	

資料 2

一般社団法人四国の右下観光局 事業実施状況等

平成30年度				令和元年度 実施計画・進捗状況等
事業	項目	取組内容等（計画）	事業実施結果	
3 体験型旅行の誘致、受入態勢整備、受入実施	体験型旅行の強化 【対海外】	○台湾をはじめとする海外からの誘致を強化するため、在外拠点の確立を目的として、在外レップ事務所と営業業務委託契約 ○在外レップ事務所の同行による、在外アウトバウンドエージェントに対する提案営業		<p>■体験型旅行の誘客強化（対海外）</p> <p>インバウンドを拡大するとともに、県南を訪れた外国人旅行者を周遊させ、滞在型観光を実現するため、台湾をはじめ海外での提案営業を強化する。</p> <p>①在外アウトバウンドエージェントに対する提案営業の業務委託（台湾等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場動向調査を実施し、海外での営業提案を強化しインバウンドの拡大を図る。 <p>②外国人旅行者等を受け入れる環境整備</p> <p>多言語表記や観光事業者のキャッシュレス決済、店舗を紹介するグーグルマイビジネスの登録等を促進し、拡大する外国人旅行者の受入れ態勢を強化する。また、災害発生等に対し、外国人旅行者に防災情報を発信する災害時情報提供アプリ「Safety tips」の活用を周知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内でのキャッシュレス決済の導入促進 → 勉強会の実施中 ・ストレスフリーな環境づくりに向けた手ぶら観光の推進 ・地域の食や観光地としての魅力を伝える多言語化の推進 → HPで掲載準備中 ・グーグルマイビジネスの登録促進 ・外国人観光客向け防災情報の発信 → HPIにSafety tipsのリンク、チラシ配布 ・宿泊・観光施設向け災害時初動対応マニュアルの提供や周知の徹底
	東京オリ・パラや関西WMGを見据えた機運醸成	○小中学生を対象としたサーフィン教室の開催 → 海洋町/宍喰海岸/小学生14名参加 ○関西ワールドマスターズゲームズ競技参加を目的としたトライアスロンスクールの開催	<p>①30.5.26 サーフィン教室 → 海洋町/宍喰海岸/小学生14名参加</p> <p>②トライアスロンクリニック → 海陽町/まぜのおか/県内外12名参加</p>	
4 特産品の企画開発、販売	新商品の企画開発、販売	○地元産食材を全面使用したお弁当「(仮称)四国の右下弁当」の企画開発、販売 ○新しいお土産物の企画開発	<p>①道の駅惣菜開発事業への参加</p> <p>②四国大学生生活科学部高橋教授による「四国の右下弁当」(仮称)への参画</p> <p>③ネットショップ開設。 → 2業者掲載(約10件受注) ※高足ガニ活用誘客プロジェクトへの参画(再掲)</p>	<p>■新商品の企画開発・販売</p> <p>県南を訪れた旅行者の満足度を高めるため、地域ならではのお土産やおすすすめする商品の開発を進める。特に既存商品の発掘や磨き上げを行い、パッケージや商品デザインなどを改良し満足度の高い商品づくりとPR戦略を強化する。また、地域の素材を活用した新商品の開発や消費促進につなげるため農工商連携の取組を強化するとともに、ネットワークを構築する。</p> <p>①地域の食をビジネス化するネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発や販路開拓、情報発信を強化するため、事業者や異業種との連携を促進し、情報やノウハウを共有できるネットワークを構築する。 <p>②県南ならではのお土産や絶品グルメの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域がすすめるおみやげ品の調査・分析 ・アカムツや秋のハモ、タカアシガニを使った新たな味覚プロジェクトの実施 ・映画「波乗りオフィスへようこそ」公開に合わせた新商品の開発 ・道の駅や観光施設等での新たな特産品やお土産となる商品の開発 ・新商品開発に向けた講座の開催 ・地域の食をPRする食見本市出展
		ネットショップの展開	①ネットショップ2店舗開設(7月) →約20件販売	

資料 2

一般社団法人四国の右下観光局 事業実施状況等

平成30年度				令和元年度 実施計画・進捗状況等
事業	項目	取組内容等（計画）	事業実施結果	
5 広域観光振興事業の実施	ホームページ	○ホームページの改修	①30.9.11 既存HP「四国の右下右あがり」を改修し、リニューアル公開。 ②県南部の観光情報を掲載したほか、トップ画面から、宿泊・体験・レンタカー・航空機・宿泊セットプランを予約・検索可能できるように充実した。 ③個別コンテンツのページには、各自業者のURLを掲載。	■HP、SNSによる情報発信 HP「四国の右下観光局」について、閲覧数の多い自転車コンテンツや動画配信による関心を高め、行ってみたいと思わせることのできる情報を提供するとともに、HPに加え、SNSによる情報発信を強化する。 ①HPの内容の充実等 ・体験プログラム予約システムの乗換を検討 → 改修中（9月稼働予定） ・多言語化（準備中）と海外向けSNS発信 ・（旅行業登録後）予約状況が把握でき、手軽に予約ができる検索システムへと改修 ・（旅行業登録後）ネット決済、キーワード検索等が可能なシステムに改修 ・新着情報のリフレッシュ、新コンテンツの作成（自転車コンテンツほか） ・画像ライブラリーの構築、収納コンテンツ精査 ②SNSによる情報発信 facebook、Instagramでのアクセス数を高め、県南の魅力を伝える情報発信を強化する。→ 広告掲載効果を測定中
	「四国の右下」ブランディング	○CRMと広告効果測定、リピーター確保に向け、メール会員システムの構築 ○会員向けのプラン作成と誘客	①四国の右下観光局のオリジナルロゴを作成。名刺・ホームページ、PRグッズ等に使用 ②あわび・伊勢エビをフックにした新聞広告を掲載。エリアイメージの造成に努めた。 ③伊勢エビ付き宿泊プランの企画・PR（再掲）	①商談会やイベント等で使用できる、うちわ・のぼり・卓上のぼり等を製作。 ②ロゴマーク（HPからダウンロード可）のPR・仕様書の配布
	情報発信	○SNSによる見どころ・食に関する情報発信 ○海外メディア、ブロガー招聘による海外への情報発信 ○鉄道、アウトドア等雑誌への広告記事掲載 ○旅行博、商談会等でのPR ○海部藍に関するイベント開催	【メディア招聘アテンド】 ・30.7.30 台湾ブロガー ・30.9.5 米・豪メディア ・30.10.6 米メディア ・31.3.6~9 香港ブロガー ・31.3.19~20 国内新聞・WEBメディア 【商談会参加】 ・30.5.15 オール徳島観光商談会（東京） ・30.5.30 JR四国大阪商品商談会（大阪） ・30.9.7 オール関西台湾大商談会（台北） ・30.9.13 オール徳島観光セミナー（東京） ・30.9.21~22 ツーリズムEXPO（東京） ・30.10.16 四国インバウンド商談会（松山） ・30.11.12~13 徳島インバウンド商談会（香港） ・30.11.30 瀬戸内クルーズセミナー（高松） ・30.12.11 外国人富裕層獲得インバウンド商談会（東京） ・31.2.12 札幌観光セミナー 【イベントでのPR】 ○30.7.24~8.27 とくしま藍の日にちなんだ「藍染め暖簾」の展示。JR阿南駅、日和佐駅、牟岐駅、阿佐鉄穴喰駅 ○30.8.3エキサイティングサマーinワジキにてPRグッズ配布	【観光局PRアンバサダー制度創設】 情報発信力のある県南出身者にPRアンバサダーに就任いただき、あらゆる機会において県南の魅力をPRしてもらう。 →R1.5.24（株）メディアホールディングス代表取締役・藤田恭嗣氏就任 【旅行会社等アテンド】 ・R1.6.20 FAMツアー（台湾） ・R1.6.21~23 一般団体旅行客（シンガポール）※産経旅行扱い 【旅行会社訪問】 → 約30社訪問 【商談会参加】 ・1.5.22 オール徳島観光商談会（東京） ・1.5.27 JR四国大阪商品商談会（大阪） ・1.6.11~14 台湾教育旅行商談会（台湾） ・1.6.18~19 VJTM東アジア商談会（徳島） ・1.8.29 徳島県観光セミナー（大阪） ・1.9.3~7 台湾大商談会（台北）※参加予定 ?1.11 香港での商談会 ※参加予定 【イベントでのPR】 ・ひわさうみがめトリアスロン大会をはじめ、エキサイティングサマーinワジキなどの大規模イベントにおいて観光パンフレットやPRグッズを配布 【広告】 ・R1.6.15 産経新聞首都圏版 7.5 産経新聞西日本・東海版 ・るるぶ 徳島（単県版）・裏表紙（中面） ・神戸市営地下鉄つり革広告 R1.8月~1年間 延べ28面（1編成6面×28編成）

資料 2

一般社団法人四国の右下観光局 事業実施状況等

平成30年度				令和元年度 実施計画・進捗状況等
事業	項目	取組内容等（計画）	事業実施結果	
5 広域観光振興事業の実施 5 広域観光振興事業の実施	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> OSNSによる見どころ・食に関する情報発信 海外メディア、プロガー招聘による海外への情報発信 鉄道、アウトドア等雑誌への広告記事掲載 旅行博、商談会等でのPR 海部藍に関するイベント開催 	【広告】 <ul style="list-style-type: none"> 30.8.2 デイリースポーツ紙面 30.8.2 西日本新聞大分県版 朝刊 30.11.6 産経新聞大阪本社版 朝刊 まっふる2019四国版 3月発行) 【市町村広報】 各市町広報誌に、地域住民向け広報を掲載	【各種団体への加入】 → 一般社団法人阿南国際観光事業プロジェクト会議へ入会予定
	エージェント向け・一般ユーザー向け提供素材収集とデータベース作成	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット等に使用する素材（主として画像）の収集 素材のデータベース化と提供 	<ul style="list-style-type: none"> 各所から写真素材の収集 	<ul style="list-style-type: none"> 各所から写真素材の収集（継続）
	ワーキンググループの開催	<ul style="list-style-type: none"> 地域別、分野別ワーキンググループ開催 観光資源の棚卸し、素材収集、おもてなし力向上に向けた取り組み 	①ワーキンググループの開催 地域別に観光関係者が集まるワーキンググループを開催し、それぞれが抱える課題、今後目指す方向性等について意見交換、商談会等で得られた意見のフィードバックなどを行った。（計9回開催） ○阿南市 2回 30.8.31/31.2.8 ○那賀町 2回 30.6.12/31.2.5 ○牟岐町 1回 31.2.28 ○美波町 2回 30.6.28/31.2.14 ○海陽町 2回 30.5.29/31.2.5	■観光素材の掘り起こしや観光事業者と連携した体験型旅行商品の開発、地域が一体となった魅力を国内外に発信する広域観光の推進、急増するインバウンド受入体制整備による消費の促進など、地域問題解決に向け、地域別・分野別のワーキンググループを開催する。 ①地域ならではの旅行商品の開発 ・観光素材の掘り起こしや磨き上げ、観光事業者が連携した体験型プランの開発を促進 ②圏域内の道の駅との連携による周遊を促すサテライトステーション化 ・道の駅日和佐を拠点に県南の道の駅、観光施設等への周遊を促す取組みを促進 ・道の駅をはじめ観光施設等の経営改善やサービスの向上 ③広域観光の推進 ・全日本サーフィン選手権等大規模スポーツイベントを活用した宿泊・飲食等の消費促進 ・ビジネス客を県南全域に誘導する体験・周遊プランの提案 ・観光データに基づいたマーケティングや事業者との連携による誘客促進 ・高知県東部DMOとの連携強化による四国の右下への誘客促進 ・サイン表示統一に向けたデザインの検討 ・インバウンド向け旅行パンフレットや観光誘客を促進するマップの企画 ④教育旅行を県南全域に拡大する受入れ態勢の整備 ・阿南市、那賀町での組織化や体験プログラムの開発 ・南阿波よくばり体験推進協議会との連携、役割分担 ⑤二次交通対策としてJR「駅から観タクン」との連携 ・JR、タクシー事業者等による県南に適した実施体制を構築 ・駅から観光施設等をつなぐシャトルバスの運行 ⑥DMVを活用した誘客促進 ・DMVを活用した周遊コースの作成、鉄道マニア等への訴求 【検討状況等】 ①市町行政機関担当者ワーキンググループ（31.6.5/参加者約20人） ②あさチェン推進会議との連携 DMVの世界初の営業運行を契機とする観光誘客活動等の事業展開を推進。 （構成）県内1市4町及び東洋町の民間企業等11団体 各市町・徳島県・高知県の行政機関はオブザーバーで参加 （事務局） 四国の右下観光局 （部会） 観光戦略、お土産飲食、広報誘客、現行車両活用の4つの部会を設置し、具体案につき検討 ③おもてなしをテーマにした検討会（9月頃予定検討結果を踏まえ、セミナー等（宿泊・食事・キャッシュレス・誘客倍増関係）を開催予定。

資料 2

一般社団法人四国の右下観光局 事業実施状況等

平成30年度				令和元年度 実施計画・進捗状況等
事業	項目	取組内容等（計画）	事業実施結果	
5 広域観光振興事業の実施	情報戦略の強化	観光客の購買プロセスを意識した情報戦略の強化		<p>■観光客の購買プロセスを意識した情報戦略の強化 県南への国内外からの観光誘客を促進し延べ宿泊者数や旅行消費額を増加させるため、「四国の右下」の存在を認知させ、関心を持たせるため、事前の観光情報の入手方法として意見が多かった旅行雑誌、パンフレットを戦略的に活用するとともに、「四国の右下」の魅力を感じやすさをSNSやWEBサイトに訴求する多様なコンテンツの整備等情報戦略を強化する。</p> <p>①デジタルマーケティングの実施 「四国の右下」の魅力伝えるコンテンツの整備と多様なコンテンツを多様な受け手に対し発信するデジタルマーケティングを外部委託する。 → 5月に外部委託し構築中</p> <p>②リアル広告の実施 国内の観光誘客促進する新聞、交通広告等を実施する。（前掲）</p> <p>③南部圏域で利用できるドローンマップの作成 那賀町ドローン特区の取組を県南全域に広げ、ドローンを使用可能な地域を紹介するマップを作成する。</p>
6 傷害保険代理店業務				<p>■損害保険代理店として、旅行傷害保険のほかイベント関連保険、施設賠償責任保険を販売、加入を促進する。 → 現在イベント保険等5件契約</p> <p>①イベント関連保険（MICE保険）の販売 スポーツ関連イベント、祭り等の催事に係る保険の販売</p> <p>②国内旅行傷害保険（団体）の販売 南阿波よくばり体験推進協議会に対する切り替え促進営業</p> <p>③施設賠償責任保険の販売 保険未加入の民宿・民泊事業者への加入促進営業</p> <p>④海外旅行傷害保険の販売 県民局職員等の海外出張の際の加入促進営業</p>